

歯科技工士に関する重要保存資料

第169国会 平成20年2月4日

国 会 質 疑

参議院予算委員会第一委員会室 委員長 鴻池祥肇

【質問】 櫻井 充 議員
(民主党 新緑風会)

皆さん科学物質過敏症という病気をご存じでしょうか。私は化学物質過敏症の患者の一人です。私は新築の住宅に入れません。新車に乗れません。うちの娘が使っている寝癖を直すスプレーを吸うと咳が止まらなくなって、娘に止めてもらいました。今そういう患者さんたちが増えています。

実際のところそれは咳が出たりとか喘息の発作が起こるものですから、子供たちがそういう病気になると基本的にアトピー型の喘息だとして治療されています。私のところの外

来に来てくれる人たちや、私の周りの人たちは化学物質を止めてもらったとたんにそう言った症状が止まっています。蕁麻疹が出ている人たちもいます。私の場合には中枢神経の症状が出てくるので僕は、めまいがするとか、ふらつくとか、体がだるくなって動けなくなったりします。僕は中国製のものを全部悪者にする気はありませんが、中国製の足温器を使って実は科学物質過敏症になった患者さんがいらっしゃると思います。つまり、今危ないのはそういった食べ物だけではありません。科学物質過敏症のところを見て頂きたいのです。

室内空気汚染 計74人 51・3%	新築改築	51人
	防錆、防ダニ処理	6人
	家庭内の薬品使用	8人
	職場での薬品・特殊科学物質	9人
大気汚染		18人
入れ歯		2人
家畜消毒		1人
不詳		49人
合計		144人

たぶん体調不良を訴えてよく原因がわからないという方がいらっしゃると思います。一応私も内科の医者の方でございまして、もし何か不安があれば、おたずね頂ければいくらかでもお答えしたいと思います。

この中でポイントとなるのは化学物質過敏症というのは実は空気から入ってくるのがほとんどでございます。特にその中の室内の空気汚染でして、これは若干古い数字ではありますが74人、約半分の方が何らかの住宅関

連、特に最近私の感覚で言うと増えてきているのが、住宅対策はそれなりに取られてきているので、むしろ家庭内での薬品の使用ですね。たとえば芳香剤であるとか、防ダニ、抗菌処理剤、防臭剤、そういった物によって咳が止まらなくなっている子供さんたちを多く実は経験しております。それだけではなくて、大気汚染の外に、ここがポイントなんです。144例のうち入れ歯という方が2例いらっしゃると思います。食べ物での報告はありま

せんが何が原因かよく解っていないからです。問題は入れ歯の方が2例いらっしやると言うことなんです。

いま歯科の技工物がどういう扱いを受けているのかというとうと雑貨ということになっておまして、日本国内だけでも、歯科業界もこれはほんとに大変な事になっていて、技工物を中国にお願いして造ってもらっている現状がございます。ところがこれがノーチェックなんです。なぜかと言うと、技工物は雑貨なんです。口の中に入れて病気になるかもしれないものが雑貨で扱われているので全くチェックされておられません。この点について、舩添厚生労働大臣どうお考えでしょう。

【答弁】舩添厚生労働大臣

最近、歯科技工物が人件費が安いということで、海外で造られている例を私も歯医者さんから聞かしまして、やっぱり安全性という事を、それは四六時中、口の中に入っているものですから、それはきちんとすべきだと思っております。具体的にですね、平成17年の9月8日に厚生労働省から国外で作成された補綴物についての取扱についてということで、歯科医師に対して注意を喚起し患者に十分な情報提供を行ってください。そして患者の理解と同意を得て良質かつ適切な歯科医療を行うよう指示を出しているところであります。

その後、今の委員のご試適をお受け致しましたので、さらに調査をし法制面を含めて、こうゆうことは雑貨扱いであれば国民の健康は守れないということであれば、しかるべき手を早急に検討して打ちたいと思います。

【質問】櫻井 充 議員

ありがとうございます。口腔内に何が入っているかで全然違うんです。たぶん、国民の皆様は口の中の詰め物で具合が悪くなったと思っていないんです。今、ほんとに訳のわからない病気が増えてきていて、みんな不定愁訴と言っていますけど、現場でどうなるかと言うと、「自律神経失調症」だとか、「うつ」だとか、そういう病名を付けられてほんとに気の毒なご苦労されている患

者さんがいっぱいいるわけです。そう言う点で考えてみても、その辺のところをきちんとやって頂きたいと思います。

その上で、歯科技工士さんたちがどれだけ苦しいのかと言うことをお話ししておきたいと思いますが、これは歯科技工士さんたちの年齢の分布です。これを見て頂くとわかりますが、25歳未満の方が毎年減って来ています。なぜかと言うとあまりに仕事が厳しいからです。歯科技工士学校が潰れています。それから、学校が募集しても定数に満たないところがほとんどです。卒業しても10%程度の人しか技工士さんになりません。あとは金属の加工とかそう言うところに行った方が遙かに処遇の面でいいからそうなっています。そうすると今現在25%ぐらい締める50歳以上の人がお止めになると、日本の歯科医療の根幹を支えているところが根底から揺らいでくると言う事になっていく訳です。

これも実を言うと医療費の抑制政策がこういふところにも来ているんです。いままで、看護師さんだとか、いろんな人が取り上げられてきましたが、技工士さんの事は取り上げられていません。この業界も滅茶苦茶大変です。この点について、大臣どうご認識されているでしょうか。

【答弁】舩添厚生労働大臣

これは、全体の医師不足の問題とかかわりがありますけども、やはり養成に5年10年とかかる、そう言う時に長期な計画をたててこの定員をどうするかと言う事を考えなければならない。

昭和50年代に歯科医師、技工士の方が多すぎるという要望があったという事も聞いております。そういう事から抑制路線を取ってきた。そして、今、定員割れをしている状況です。治療よりも予防とう方向転換もありますけども、今のような事はきちんとして、これから高齢化社会になって、入れ歯の需要も高まりますし、また、治療ということは当然行わなければならない。

その根幹である技工士の方々の不足をきたしては駄目だと思いますので、これは長期的な観点からも医療ビジョンを作成し直そうと思っておりますので、そこでもこれをきちんと取り上げさせて頂きたいと思います。

【質問】 櫻井 充 議員

ありがとうございます。いずれにしてもこの最大の問題は医療費を削減し続けてきた事、抑制し続けてきた事。必要なところに結局はお金がついていない事が原因だろうと思います。ですから、総理、改めてご決意をお伺いしたいと思います。

後で自民党の議員もいかに医療費が圧縮されてきたかと言うことを質問されますけども、そういう時代ではない訳です。これは与野党関係なしに、取り組んでいかなければいけないことだし、先ほど総理は経済財政諮問会議の言いなりにならないんだ、経済財政諮問会議は公的給付を抑制しろとばかり言って来ているわけです。こういう声を聞かないでほんともう一度見直して頂いて、医療費を大幅に増額して頂きたいと思いますが総理いかがですか。

【答弁】 福田内閣総理大臣

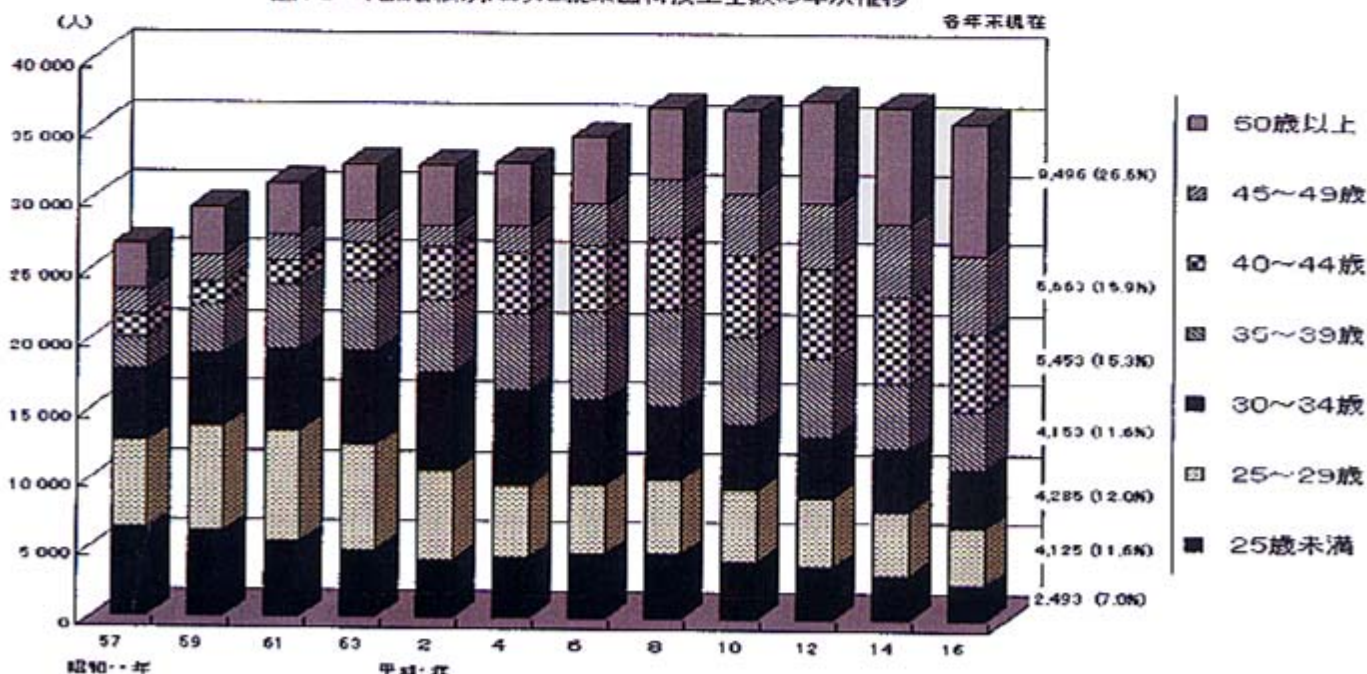
医療費の重要性は充分認識しておるつもりでございます。日本の限られた財政事情ということもございますから、いくらでも増やさなければいけ

ないということに直結するわけではありません。

全体のバランスをみて考えていかなければいけないと思います。今は世界一の長寿国であります。しかし、来年再来年どうなのか言うこともあります。やはり将来、そういう水準という物を、よい医療を維持できるかと言う事も考えていかなければいけないと言うことでもあります。

医療費を増やす前に、国民の負担はどうなるかそのバランスも取らなければいけない。そう言う意味に於いて、ただいま社会保障についての検討会議を開催致しました。これは国民会議と私どもは申し上げておりますけども各界の方々にお集まり頂いて、将来の社会保障、もちろんその中に医療もございますけども、どうあるべきか、当然負担がありますから、負担とのかねあい考えていかなければいけないと、そう言う事について充分議論していただきたい。そうして早急に考え方をとりまとめて具体化する。と、言うような手はずを整えているところでございますので、まあできうればそう言う議論について民主党、野党の皆さんにご参加をいただいて議論をして頂くのがよいのではないかと考えておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

図10 年齢階級別にみた就業歯科技工士数の年次推移



厚生労働省：平成16年保健・衛生行政業務報告より

国会情報

2002/2/29	国会質問主意書 民主党参議院 櫻井 充 議員	歯科技工士の技工料の決定方法に関する質問
2006/6/14	国会質問主意書 民主党参議院 櫻井 充 議員	歯科技工士を取り巻く環境に関する質問
2006/10/6	国会質問主意書 民主党参議院 大久保 勉 議員	国外で作成された歯科技工物の取扱に関する質問
2006/10/1	国会質問主意書 民主党参議院 櫻井 充 議員	歯科技工士の長時間低賃金労働に関する質問
2006/11/9	国会質問主意書 民主党参議院 大久保 勉 議員	保険給付対象となっていない海外技工物について
2007/5/21	国会質問主意書 民主党参議院 大久保 勉 議員	1 歯科技工物の分類に関する質問 2 歯科技工学校に関する質問 3 技工士の労働に関する質問 4 未承認材料に関する質問
2007/6/14	国会質問主意書 民主党参議院 櫻井 充 議員	1 歯科技工士の長時間労働の質問 2 海外の技工物使用に関する質問
2008/2/4	国会質疑 テレビ中継 第169国会 参議院予算委員会 民主党参議院 櫻井 充 議員	1 輸入の入れ歯の安全性に関する質問 2 歯科技工業界の改善に関する質問

その他の情報

2003/10/21	日本歯科新聞	10/16 大津地裁判決。日本歯科医師連盟と日本歯科医師会が全面敗訴。連盟と社団の同時入会、退会は不法。
2005/9/8	厚生労働省医政局歯科保健課長から各都道府県衛生主観部長への通達	海外で作成された補てつ物等の取扱について
2006/2/10	中日新聞	歯科技工所は非製造業・名古屋高裁判決(2006/6/29上告棄却決定)
2006/12/12	日本歯科新聞	海外技工物、保健給付せず
2007/4/28	雑誌・週刊東洋経済	当世 歯医者さん事情
2007/5/22	日本歯科新聞	歯科のワーキングプア
2007/6/22	朝日新聞	技工士80人、国を提訴へ
2007/7/10	日本歯科新聞	歯科医院の倒産急増
2007/7/22	J-CAT	歯科医もワーキングプア
2007/8/15	FACTA	哀れ、街に溢れる「貧乏歯科医」
2007/9/14	週刊朝日	歯の詰め物に「中国製」増殖中
2007/11/5	東京新聞	東京の歯科医師3人が自殺
2007/10/28	日刊スポーツ	輸入激安入れ歯・歯科技工士からの警告
2007/12/9	TBSテレビ	追いつめられる歯科医師
2007/12/30	書籍「ドキュメント医療危機」朝日新聞社発行	p247 歯科医療はもっと悲惨 p257 海外製入れ歯、待った!
2008/1/23	キャリアブレイン	歯科医に広がるワーキングプア
2008/1/25	日本歯科新聞	厳しさ増す歯科技工士業界
2008/2/28	テレビ朝日	追い込まれた歯科医
2008/3/4	SPA	歯医者者の赤貧化が止まらない
2008/3/4	日本歯科新聞	中国製修復物から鉛(米国歯科技工所協会発表)